

## 年頭挨拶

### 市民の声と事業評価で 効果と必要性を把握

浜川市議会議員 しのだ徳寿

新年明けましておめでとうございます。ご家族の皆さんと健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、皆様の多大なるご支援とご協力により、議員活動が出来ることに、心より感謝申し上げます。

#### 求められる地域活動の充実

合併後、4年が過ぎようとしていますが、地域の一体性を含め、課題も残っています。限られた財源をいかに効果的に、そして必要性を把握し、実行することが求められていると思います。阿久津市長は、「市民主体の市政」を掲げ、市民の力に期待しています。厳しい財政状況の中で、市民が助け合いふれあえる地域活動の充実が求められています。市民の声を市政に反映させ、安心して生活できる柔軟かつ多面的な仕組み作りを提案していきます。微力ではありますが、市民の目線でしっかり対応していきます。

#### 民主党政権に責任ある対応と期待

衆議院選挙では民主党が躍進し、政権交代を現実させました。民主党は無駄を無くすべく、事業仕分けをはじめとした官僚主導の政治から、政府主導の政治へと取組を進めています。しかし、国の財政状況は800兆円を超える借金を抱える上に、厳しい経済状況により、税収の大幅な減収が見込まれています。民主党はマニフェストの実現に向け予算の見直しに全力で取り組んでいます。実効性のある、そして、国民の目線に立った、政策が望まれます。私たちが願った政権交代が実現したわけですから、要望をしっかりと把握し、実現に向けた取組を進めていきます。

また、地方分権も民主党の公約の目玉です。地方自治体の意見や実態を把握して、真の地方分権に取り組んでほしいと思います。

今後皆様様の声を市政に反映すべく、精一杯頑張りますのでご指導、ご協力をよろしく願います。

最後に皆さんのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。新年の挨拶とします。

## 12月定例会開催される

12月定例会が11月30日から12月11日まで、12日間の日程で開催され、慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

### 浜川市交流促進センター 指定管理者にケープビックス㈱

浜川市交流促進センター（SUNおのがみ）を指定管理者ケープビックスに施設の管理を行わせるものです。期間は平成22年4月1日から平成27年3月31日までです。公募には2法人からの応募がありました。



SUNおのがみ

### 国家公務員に準じて

#### 期末手当を0・35ヶ月引き下げ

人事院勧告により、国家公務員に準じて期末手当の引き下げを行うものです。市長・副市長及び職員と市議会議員の期末手当を年間0・35ヶ月引き下げます。市議会議員全体で439万円の減額（一人あたり約15万円）、市長・副市長及び教育長で89万6000円の減額です。

また、住居手当のうち自己所有住宅で、新築購入から5年を経過しない場合は月額2500円が支給されていましたが廃止されました。勤勉手当についても、0・75ヶ月から0・70ヶ月に引き下げられました。

### 出産祝金支給条例を廃止

合併時の調整により、第二子から10万円を支給していた出産祝金が廃止されます。出産祝金は、少子化対策の事業として旧赤城村などで実施され、合併後も継続されてきた事業ですが、効果に付いては疑問の残るものでした。この間、出産祝金ならば第一子から支給すべきであり、事業の見直しをするべきであると発言してきました。

少子化対策では不妊治療費補助の拡大をするべきであり、子育て支援では保育料などの第二子以降の無料を就学前までとする条件を緩和するべきであると思います。（平成23年1月1日施行）

今年もよろしくお願いいたします



浜川市議会議員  
しのだ 徳寿

〔後援会事務所〕

大同特殊鋼（株）

浜川工場労働組合内

TEL 0279-23-5198

FAX 0279-24-3820

\*ご意見、ご感想などお寄せください。

## 補正予算関係

補正予算の主なものは、歳入として国庫負担金で、生活保護費負担金5386万9000円、県補助金で、新型インフルエンザワクチン接種費用助成事業補助金3264万3000円、市債で地方道路整備臨時貸付金4720万円などです。

歳出では、人事院勧告による期末手当の引き下げ、住居手当の改定、勤労手当の引き下げなどによる人件費の改定です。また、新型インフルエンザワクチン接種費用助成事業4352万4000円、経済の悪化による生活保護者の増大で7182万5000円などがあります。本年度の相談件数は、142件で、ケースワーカー5人で対応しているため、一人あたり60世帯になり、対応が心配されます。

## 議員全員協議会報告

### 旧渋川公民館建物の取扱いについて

平成20年9月18日の議員全員協議会で旧渋川公民館の取扱いについては報告されたが、耐震の問題や保存要望がされたことにより、平成19年度に行った「渋川公民館現況調査」において算出した曳家移転経費概算額の、より詳細な情報を得るための調査並びに区画整理事業との関連について再検討を進めてきた結果について報告されました。

平成20年の議員全員協議会の報告では、旧渋川公民館は取り壊すこととする。ただし、当該建物は、昭和初期の特徴を伝えている外観や機銃掃射被弾痕など、歴史的遺産としての遺構を有していることから、これらを一部保存することにより、広く市民に公開し、その活用を図るものとする。レプリカ、写真、図面、一部はぎ取り等、一部保存の具体的手法については引き続き、検討を進める。との報告でした。当時は耐震性に問題があることから、取り壊しの方向で了承しました。しかし、曳家移転に耐えられることや歴史的遺産の価値、まちなかの活性化などを理由に再検討が要望されていました。

今回報告された移転保存概算額は、曳家移転費再検討額（免震構造）は2億8000万円、曳家後の利用目的適合改修費等（資料館を想定・エレベーター設置）1億5000万円の合計4億3000万円です。この他にも、区画整理事業との関連について説明がされ、取り壊し、一部保存とするこの方針が示されました。

議員からは、「取り壊しあきらめ」などの意見が出されましたが、今後の活用や歴史的遺産の価値、文化財の指定など多面的な検討を行い、市民の納得できる方向に進めていくことが大切だと思えます。



旧渋川公民館

## 地域の話題



駅前のイルミネーション



恵みの園で餅つき



連合渋川地協市長に要望書提出



まちなかセンターイルミネーション



NPO ものづくり桜の木を植栽



行幸田保育園生活発表会

## 12月定例会一般質問

- ① 多様な市民ニーズの対応と意識改革について
- ② 人材の発掘と育成支援について
- ③ 環境に配慮した産業振興について

\*要旨は市議会だよりをご覧ください。

## ホームページ開設

<http://geo.t-shinochan55.com/>

篠田徳寿でもリンクできます。シオログからホームページにリンクしてください。議会報告や活動報告、地域の出来事、ボランティアなどを掲載してあります。今後も充実していきますのでよろしくお願い致します。